

② 次の () にあてはまる言葉として、適当なものを、あとから選んで答えなさい。

酒の主成分である (アルコール) は、(胃) や小腸から血液中に吸収されて、脳や神経のはたらきを低下させ、思考力や自制心を低下させる。

(アルコール) は (肝臓) で処理されるが、その途中でできる (アセトアルデヒド) が、吐き気や頭痛などの二日酔いの原因となる。

ただ、(肝臓) での処理には限界があり、一度に大量の飲酒をすると、(急性アルコール中毒) となり、長期間、過度の飲酒を続け常習化してしまうと (アルコール依存症) となる。

未成年者はアルコールの害を強く受けるため、(未成年者飲酒禁止法) により飲酒が禁止されている。

アセトアルデヒド, 未成年者飲酒禁止法, 肝臓, 胃
アルコール, アルコール依存症, 急性アルコール中毒